

7. 都市交通マスタープランの展開

7-1 期待される主な効果

□ 都市交通マスタープランの展開により、都市圏の活力や安全・快適な移動の確保、環境や魅力の向上などの効果※が期待されます。

効果 1

公共交通利用圏域の市街地カバー率維持 が期待されます

公共交通利用圏域の市街地カバー率を現状維持（約8割） します

効果 2

CO2排出量の削減 が期待されます

交通に関するCO2排出量が約3割減少

効果 3

伊豆縦貫自動車道ICへのアクセス向上 が期待されます

各市町から伊豆縦貫自動車道ICへの所要時間が約6割短縮

効果 4

道路混雑の緩和 が期待されます

道路の混雑区間が約6割減少

効果 5

災害時のアクセス確保 が期待されます

主要拠点間のリダンダンシーが確保されます



※ ここで示した効果（現況値（R2時点）との比較）は、本マスタープランにおける将来交通量推計（R22時点）をもとに試算したものであり、各施策のうち効果を定量的に把握できる主なものを取り上げています。

7-2 都市交通マスタープランの展開に向けた取組

(1) 取組方針

□ 都市交通マスタープランの展開により、目指すべき都市交通像の実現に向けた取組を進めます。

- 積極的な周知により、**都市交通マスタープランの情報共有**を図ります。
- 幅広い意見を取り入れるために、**住民、事業者等と行政の協働**を進めます。
- 関係者が協力し、**相互に連携した推進体制**のもと施策に取り組みます。
- 今後期待される**技術革新等にも柔軟に対応**し、適時適切に施策を見直します。

(2) 推進体制

